

常磐会報



Vol.53
December
2022



君を友にみんなと共に ～ 今を楽しく ～

目次

常磐会会長・校長ごあいさつ	2
令和4年度常磐会総会によせて	3
卒業生からのおたより	3～4
恩師からのおたより	5
京都高校の近況報告	6～7
スマホアプリ決済について	7
「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名	8





ごあいさつ

常磐会会長 和田雄二 (高校31回生)

常磐会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年10月開催の2021年度総会におきまして、若山前会長からバトンを引き継ぐこととなりました。

私が2016(平成28)年度より、副会長をなるとか務めさせていただいておりましたが、コロナ禍がピークの2021年3月に定年退職を迎え、静かに第二の人生をスタートいたしましたところ、このような大役を仰せつかることとなり、緩んだ気持ちと身体が改めて引き締まる思いであります。

今後は、常磐会の「常磐」が意味する「永久不変」の歴史と伝統を引き継ぎ、熟慮断行の精神で臨みたいと思っております。

さて、2020年の年初から新型コロナウイルス感染症のまん延、いわゆる「コロナ禍」が続いており、常磐会においても、2020年からの2年間は、総会事業も縮小し、息をひそめる日々が続いておりましたが、最近では感染者数も減少傾向が続き、本年6月1日に福岡県コロナ警報も解除され、アフターコロナへの動きが見え始めてまいりました。

このような状況ではありますが、まだ完全にコロナ禍が解消されたわけではありませんので、本年度の総会実行委員会の皆様は、感染予防対策に留意しながら、なんとか平常時の総会事業を取り戻そうと努力され、準備を進めてこられました。(起稿後、コロナ禍第7波が猛威を振るいだし、結局今年度も総会後の懇親会は中止となりました。)

本年度の総会実行委員会は、平成27年卒業の高校42回生・定時29回生、平成15年卒業の高校55回生、平成27年卒業の高校67回生の皆様です。原田幸一実行委員長を中心に、各実行委員がSNSをうまく利用しながら取りまとめ、「協力回生のつどい」も2019年度以来3年ぶりに開催する運びとなりました。

コロナ禍からの夜明けが感じられ、気持ち昂る

思いであります。実行委員の皆様のご熱意とご努力に心より感謝申し上げます。

会員の皆様には、総会当日は「協力回生のつどい」と同様に、無理せず可能な範囲での参加をいただきますようお願いいたします。

また、本年度総会の開催にあたり、協賛していただきまされた皆様、コロナ禍が長引き大変な状況の中にもかかわらず、多大なるご協力を賜りまして、心よりお礼申し上げます。

皆様のご厚意は、総会事業の運営、そして現役京都高校生への援助にと、大切に使用させていただきます。

常磐会の活動に関するお知らせ、常磐会の会則等、写真館、同窓生の活躍、常磐会報と総会誌のバックナンバー、会員名簿の住所等変更届出フォーム等が閲覧、利用できるようになっておりますので、ぜひご利用ください。

UR.L、QRコードは、次のとおりです。懐かしなのは「校歌」のページで、高女・高校の校歌と一緒に「応援歌」が音声として聴ける場所ですので、お試しあれ。

最後にありますが、コロナ禍に負けずに頑張る母校京都高校のさらなる躍進と、同窓会常磐会のますますの発展をご祈念申し上げます、私のごあいさつとさせていただきます。

常磐会公式ホームページUR.L

https://dousoukaiste/niyako-tokiwakai/



ごあいさつ

校長 執行和彦 (高校34回生)

本年度四月の異動で、土田前校長の後任として赴任しました執行と申します。

令和四年度常磐会総会の開催にあたり、心からお慶び申し上げます。

令和四年度常磐会総会の開催にあたり、心からお慶び申し上げます。

また、常磐会の皆様におかれましては、日頃から物心両面におきまして、母校京都高校をご支援いただき、深く感謝しております。

さて、私事ではありますが、私は本校卒業三十四回生であります。

その後、いったん母校を離れましたが、九年ぶりに母校へ戻していただけることになりました。

母校京都高校は現在、全日制においては、一学年六クラスの編成で、生徒たちは、勉学に学校行事に部活動にと日々励んでいます。

くお願いいたします。

定時制においては、多様な生徒たちが本校で学び、職員も「多様性」を基本とした教育活動の充実に取り組んでいます。

私自身は、まだ赴任して五か月ほどしか経っていませんが、現在の生徒たちの状況を正確に掴んでいるとはいえませんが、全日制において、六月に実施しました体育大会を見て、生徒の能力の高さ、人間力の高さに大きな感動を受けました。

また、この総会当日には、(この原稿を書いているときには先のことですが)、文化祭も成功裏に終わっていることと思っております。

この行事を作り上げていく力は、これから生徒たちが生きていく激動の社会では、最も必要とされている力であり、やがて本校を巣立ち大きく羽ばたいていく生徒たちの明るい未来を象徴するものでもあります。

そのような生徒たちの進路実現に向けて職員一丸となって支えていく所存であります。

生徒たちが自らの希望する進路を実現し、自分の未来を切り開いていく第一歩を踏み出すことを願ってやみません。

今後とも、より一層のご支援を賜りますことをお願いし、常磐会並びに母校京都高校の更なる発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

令和4年度

常磐会総会によせて

ごあいさつ



実行委員長
原田 幸一
(高校42回生)

2022年度常磐会実行委員長の高校42回生の原田幸一です。本年度当番回生である高校42、55、67回生、定時29回生を代表してご挨拶申し上げます。

コロナ禍の中で人の動きが制限され、社会生活に大きな変化が生じ、常磐会の活動においても、この2年間大きな影響を受けました。昨年度の当番回生である41回生の先輩方が、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で会場の使用が制限されたことにより、会議やイベント等の開催が難しい中、苦勞して何とか総会の開催を成功させました。その姿を見て、自分たちも先輩方を見習って、常磐会総会をコロナ前の姿で開催できるよう頑張ろうと心に誓いました。

最初は、数人から始まった実行委員会も回数を重ねるごとに少しずつ人数が増えてきました。久しぶりの再会する友人や在校中には会話もしたことがない同級生たちと議論を交わすことで、時を超えた友情と絆を再確認することができました。そこで私たちは今年度の常磐会総会スローガンを「君を友に みんなと共に」を楽しくく」と掲げ、準備を進めることにしました。その準備を進めていく中で、同級生や55、67回生の後輩たちと協力し合い、時にはぶつかり合い、何とか従来通り協力回生のつどいと総会・懇親会・総会記念イベントを開催できる目途が

立ちました。あとは何事もなく成功を祈るばかりです。

私たち42回生は、平成2年3月に京都高校を卒業し、32年の年月が経過しました。50歳という節目の年に当番回生を迎え、同級生たちと話す中で、自分だけでなく同級生の子どもたちが京都高校の生徒としてお世話になっていることを聞き、自分たちが京都高校に通っていた時には、まったく想像もできなかったことです。年齢を重ねるにつれ、私たちの母校である京都高校とその同窓会である「常磐会」の伝統の重さをひしひしと感じているところです。自分たちの子どもとその友人たちにもその伝統の重さと友情の大切さを伝えていけたらと考えております。

今年度の総会記念イベントの第一部においては、コロナ禍で演奏の機会が減っている母校京都高校吹奏楽部で出演を依頼しました。

また、第二部では、女優としてシリアスからコメディに至るまで幅広いジャンルのドラマや映画で活躍されている財前直見さんをお招きし、「考え方で生き方が変わる今を楽しく！」をテーマにご講演いただきます。来場される皆様には、楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

末筆ではありますが、貴重な協賛広告を賜りました企業、地元、同窓生の皆様、本当にありがとうございました。

また、多くの助言や協力をいただきました和田会長を始め常磐会役員の皆様方、山中前実行委員長並びに41回生の先輩方、常磐会事務局局長の玉江先生、大変お世話になりました。

コロナが終息し、来年度以降も常磐会総会・懇親会・記念イベントが盛大に開催されることを期待し、また母校京都高校と常磐会の益々のご発展を祈念いたしまして実行委員長のご挨拶とさせていただきます。

卒業生からのおたより1



「津田梅子船出から百五十年その先は」

高女30回生 品川 洋子

先に、京都高校創立百周年を盛大に祝い、新たに力強く校史を重ねていますこと、同窓生としてお慶び申し上げます。

先ごろ、新紙幣の肖像として、津田梅子が五千円札に発表されました。明治以降の文化人で、国民に広く知られ、世界に誇れる人としてです。

津田梅子が日本人初の女子留学生として太平洋を渡ったのが、一八七一年（明治四年、満六歳でした。帰国後、津田塾大学の前身となる女子英学塾を創立し、女性の高等教育と自立のために尽力しました。

津田梅子の船出から現在では、ほぼ百五十年です。その半分のころ、昭和の戦争終結がありました。

百五十年の前半七十五年は、明治以来の政治、文化で、男性優位の教育体系でした。大正二年に東北帝大に女性三人が入学、卒業したのが特記されることでした。

百五十年の後半七十五年は、教育改革により男女平等になり、女性に大学の門が開かれました。

私は、前半の七十五年の最後と、後半七十五年の始めにそこいたしましたことにあります。京都高女三十回生として卒業した後、新学制の大学に入りました。はじめての女性の入学、はじめての男女共学です。

女性は少数で、卒業時、一期学生中八・五%で、私はその一人でした。

卒業して中学校の社会科教師、三十年代で教頭職、四十代で校長職に就きました。気づいてみれば、周囲はほとんど男性で、私はその中に入っていたのです。でも、男女共学一学期、なすべきことをするだけと思っていました。

それから平成が進み、令和の時代になり、女性が学校の主要な役割に就くことが多くなってきました。しかし、その数は、教職の女性数からの比率、また学校

数からの比率などからは、まだまだ低い状態です。

次の七十五年は、もう始まっています。基本の法や制度は整っていますので、どれだけ細部にまで中身を濃くするかということになりました。

津田梅子は女子高等教育や女性の自立を推しすすめました。しかし、実は男性、女性に関わらず、知性と強い意志を備え、自分で思考し、国際社会を含め、広い社会に貢献する人を育てることでした。

津田塾大学は、建学の精神、その後の実績で厚い信頼を得ています。私のところに卒業生が進路の報告に来て、「津田です」と言うと、こちらの背筋が伸びる気がします。

ここで、広く社会を見ますと、日常的な実績で厚い信頼を得ています。私のところに卒業生が進路の報告に来て、「津田です」と言うと、こちらの背筋が伸びる気がします。

このころ、SDGs（持続可能な開発目標）や、世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数が報道されています。

昨今、国際社会の問題も深刻になってきています。世界はいつも動いています。広量、成熟など大事なもの身近なところからでも大切にしたいものです。

京都高校同窓会は「君を友に みんなと共に」を掲げています。今後とも充実発展されますように願っています。

略歴

- ◆ 東京生（一九三一年）、疎開で京都郡へ
- ◆ 京都高等女学校卒業（一九四八年）
- ◆ 福岡教育大学中学校課程社会科卒業
- ◆ 九州産業大学大学院修士
- ◆ 北九州市立中学校校長定年退職後
- ◆ 福岡教育大学他二大学で講師、九州女子大学文学部教授、九州森鷗外記念会会長等を歴任
- ◆ 平成九年度から令和元年度まで、常磐会副会長として、会に貢献

卒業生からの
おたより2

「命と死の狭間で」

高校42回生 1組 浜内 諭

こんにちは。皆さんと紙面ではありますが、再会できる機会が与えられたことを心から感謝します。私は京都高校卒業後、九大工学部に入学し、環境ビジネスがやりたくて新宿に本社のある水処理メーカーに入職しました。最初の赴任地は大阪で、コンビナートへの営業を担当しましたが、仕事は大変忙しく、朝から深夜まで働く生活でした。ただ、会社に対しては待遇面も含めてとても満足しており、生涯勤めるべき会社とその時は本気で思っていました。

次第に仕事を覚えていき、営業成績も上がり、仕事が面白くなってきた3年目の夏頃でしたが、次第に心の奥底でもやややする思いが生じてきました。なぜだろうかと考えていた時にわかったのは、自分がこのまま一会社人として一生を全うすべきなのかどうかという点に不安を感じているということでした。前述のように優れた企業でした（現在も）ので、安定性、将来性を言うているのではありません。何か理解したいもやややをその都度打ち消しながら任事に携わっていきまして、さらに渴きは強くなり、ついには打ち消すことができなくなり、別の道を選択することを決意したのです。では何をを選ぶのか？仕事の中で主に化学薬品と産業機器を扱っていた私の中で導き出されたのは、やっぱり自分人間に直接関われる仕事をした方がいいと思っており、真っ先に思いついたのは医師という職業でした。でもすでに高校を卒業して7年が経過して現実に、経済的厳しさを承知しながら、さらには現役時よりも成績が良くなければ合格は厳しいという現実と、断念せざるを得ないというプレッシャーが大きな不

安要因でした。一方で、「でもやってみなければわからないし、一度限りの人生だろうか？」という心の声もあり、背水の陣で仕事を辞めて医学部を目指すことを決断しました。その後予備校に行かず1年間実家でひたすら勉強し、模試を受けながら自分の立ち位置を客観的に見るようにしました。努力の甲斐があったか次第に手応えを感じるようになり、1年後に鹿児島大学医学部へ合格することができました。この時26歳でした。そこから苦しみながら6年間勉強に励み、国家試験に合格して晴れて医師免許を取得できたのが32歳の時でした。卒業後は5年間、総合病院で内科研修を受け、6年目で38歳の時に現在の静岡県立静岡がんセンターに入職することになりました。

がんセンターでは基本的に癌患者が診れません。日本では国民の半数が生涯のどこか時点でがんにかかると言われています。毎日のように病院は大変な混雑ぶりです。

私もこれまで多くの治らない癌患者さんを診療し、そして何百人もの患者さんを看取してきました。まさに死と隣り合わせの仕事と言ってもいいかもしれません。死は社会的立場が高い方にも、そうでない方にも平等に襲ってきます。元気がな時は天と地ほどの差があるかと思われ、各人に平等に来る死の前に立った時に、大体同じような反応を示されることをこれまで見てきました。つまり、本人だけでなく家族までもが死の直前で死から目をそらすようにするのです。

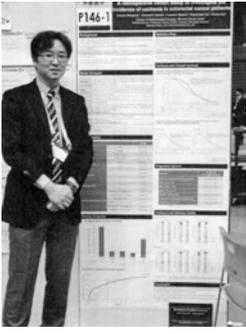
そのような過酷な環境の中で、今でも印象に残るひとりの患者さん

んを御紹介したいと思います。その方は30代という若さで胃癌を発症したSさんでした。初めて彼女にお会いした時、すでに全身に転移しており、余命幾ばくもない状態でした。その時の彼女の打ちひしがれた表情は今でもよく覚えています。彼女は「元気な時には考えないようなことを考えるようになりまして。」と言っておられました。

ある日のことです。病棟回診時に訪室し、いつもどおり病状をお聞きし、出て行くこととした時に突然言われたのです。「先生、死んだら私はどこに行くの？」いきなり後頭部を殴られたような衝撃でした。一瞬戸惑いましたが、私は医師以前にクリスチャンです。そこから勇気を出して医学は本質的に死の解決はできないことを伝え、そこから彼女と深い対話へと入っていきまして。詳細は紙面の都合上省略させていただきますが、そこで私たちが小さな奇跡を経験したのです。

死から目をそらすこと、それが通常の反応なのだと思います。それが我々の「常識」にもなっているかもしれません。しかしSさんの問いかけは人間として本質的なものであり、彼女こそまさに人生の勝者だったんだと今でも思い返すのです。

私たちがすでに人生の折り返し地点を優に過ぎてしまいましたがね（笑）。だからこそ、人間としての本来考えるべきことを考えるステージにすでに来ているのではと思うのです。少しでもこの文書が皆さんの目に留まれば幸いです。



卒業生からの
おたより3

「京都生フリッぷ芸で結婚の挨拶をする！」

高校55回生 1組 吉留 雄介

2022年度常磐会総会の開催、総会誌の発行おめでとございます。本来であれば当番回生55回生として実行委員の活動に参加すべく地元の高級生達にはかり55回生の活動をお願いすることに大変申し訳なく、そして大変感謝しております。

また、先輩方をはじめ実行委員のみならずにはコロナ禍での久しぶりのフル開催ということで例年以上に気苦労も多い中ご尽力いただき、さらに御礼申し上げます。

さて、仕事に子育てに忙しい生活の中、なかなか高校生活を思い返す機会もないので、今回はせっかくなので私達の京都高校での3年間を思い返してみようと思っております。

入学直後、英彦山への登山体験がありました。新しい友人達との思い出作りを成功させようと直前に意気込んで床屋に行ったはいいも格好良くなりたいたいという思いから「はさみだけで坊主頭に近づけて欲しい」というよくわからないリクエストができました。私、高校卒業後大学、法科大学院へと進学し司法試験受験時まで勉学を続けました。試験自体は生憎の結果となつてしまいましたが、縁あって某ホテルに



就職し、国内国外へと営業に回り今は総支配人として各部署を統括する仕事をしています。全員で一つの方向に向かい、各部署自分の仕事を全うし、連携を取りながらお客様に非日常の空間と休息をプロデュースします。私の高校生活の中心だった生徒会活動が、今の職を天職に感じさせます。

ただ時折、生徒会活動や数学など偏った活動や勉強に嵌まっていた自分を思い返しては、何故もつと英語の勉強に励まなかったのかと、何故自分の人生に英語は関係がないと思いついていたのかと反省しています。当時の私は、まさか自分が外国に出張に行くことになるなんて、まして国際結婚することになるなんて思ってもいなかったのです。もし耳を傾けてくれたら、後輩がいるのなら、是非どの分野の勉強も大切にしたいなと思います。

最後にになりましたが京都高校並びに常磐会の益々の発展を祈り、結びの言葉とさせていただきます。

縁あって某ホテルに



部活動活動状況

●**主な戦績** *令和3年4月～令和4年3月までの期間での県大会以上
新型コロナウイルス感染症の影響で県大会以上が中止になった大会等も含んでいます

《体育部》

バスケットボール部

- 福岡県高校バスケットボール選手権大会
県大会 ベスト16 女子（北部ブロック4位）
- ウインターカップ福岡県予選
県大会 出場 女子
- 福岡県高校バスケットボール新人大会
県大会 女子（北部ブロック3位）
感染症のため県大会中止

野球部

- 第148回九州地区高校野球福岡北部大会
県ベスト16

陸上部

- 福岡県高校陸上競技選手権大会
県大会24位 男子やり投げ 1名（北部ブロック4位）
県大会28位 女子砲丸投げ 1名（北部ブロック7位）

バドミントン部

- 福岡県高校バドミントン新人大会
県大会出場 男子団体（北部ブロック5位）

卓球部

- 福岡県高校卓球選手権大会
県大会 出場 女子個人 1名（北部ブロックベスト32）
- 福岡県高校卓球新人大会
県大会 出場 女子個人 1名
県大会 出場 女子団体

水泳部

- 福岡県高校水泳新人大会
九州大会 男子50m背泳ぎ 1名（県予選2位）
九州大会 男子100m背泳ぎ 1名（県予選9位）
感染症のため九州大会中止

空手部

- 福岡県高校空手道新人大会
県大会 出場 女子個人形 1名（北部・筑豊ブロック5位）
県大会 出場 女子個人組手 1名（北部・筑豊ブロック2位）

《文化部》

放送部

- 福岡県高校放送コンテスト大会
県大会 出場 朗読部門 女子2名（北九州地区3位・入賞）
- 福岡県高校総合文化祭放送コンテスト大会
県大会 出場 朗読部門 女子1名（北九州地区入賞）

書道部

- 福岡県高校総合文化祭書道部門
秀作 女子1名

美術部

- 福岡県高校総合文化祭 美術・工芸部門
特選 女子1名

●令和4年度 部活動加入

文化部		学年		全学年	
		男子	女子	計	
1	演劇	0	0	0	
2	華道	0	3	3	
3	琴曲	0	6	6	
4	コ－ラ	0	3	3	
5	茶道	0	6	6	
6	写真	9	15	24	
7	囲碁・将棋	9	0	9	
8	書道	1	7	8	
9	放送	3	7	10	
10	煎茶	0	1	1	
11	文芸	2	7	9	
12	美術	2	7	9	
13	吹奏楽	7	31	38	
14	料理	0	30	30	
15	英語（ESS）	0	4	4	
16	S G	0	6	6	
17	科学同好会	3	2	5	

体育部		学年		全学年	
		男子	女子	計	
1	バレーボール	14	11	25	
2	バスケットボール	25	24	49	
3	野球	28	4	32	
4	テニス	10	6	16	
5	陸上	17	4	21	
6	柔道	0	0	0	
7	剣道	5	3	8	
8	サッカー	23	2	25	
9	バドミントン	23	26	49	
10	バトンダンス	0	16	16	
		1	27	28	
11	水泳	5	0	5	
12	卓球	0	11	11	
13	空手道	1	2	3	
14	レスリング同好会	0	0	0	

部活動 合計		学年		全学年	
		男子	女子	計	
①+② 総合計		188	271	459	
生徒数		327	374	701	
加入率		57.5	72.5	65.5	

写真部

- 福岡県高校総合文化祭 写真部門
県大会 入選 女子2名

文芸部

- 福岡県高校総合文化祭文芸コンクール
九州大会 詩部門 女子1名
九州大会 短歌部門 女子1名

はじめに、令和三年度の生徒の進路状況をご紹介します。令和三年度は、四年修了生の十名が卒業しました。十名のうち、在学中の仕事を継続している生徒もいますが、卒業後の進路は就職が九名、進学が一名でした。

つきに、令和三年度の主な活動をご紹介します。

九月に行われた生活体験発表北九州地区大会に、本校から二年生一名が出演しました。二名ともに、これまでの自身の経験をふまえて発表し、奨励賞を受賞しました。

部活動のうち、文化部関係では、北九州芸術祭総合美術展書道部門において、三年生十名が入賞し、二名が特選、八名が入選となりました。また、行橋市人権啓発作品（書道の部）において、二年生二名が入賞し、一名が優秀賞、一名が入選となりました。さらに、福岡県高等学校書道教育研究会主催授業作品展では、三年生三名が優秀賞を受賞しました。

体育部関係は、大会には出場しませんが、放課後の限られた活動時間を有効に使うべく、技術を高めています。

本年度は、新入生十六名を迎え、全校生徒五十六名でスタートしています。生徒たちは、日々仕事に勉学に全力で励んでいます。



令和3年度 国公立大学合格者数（既卒生を含む）

設立	大学	学部	人数	設立	大学	学部	人数	設立	大学	学部	人数	
国立	弘前大学	農学生命科学部	1	国立	佐賀大学	芸術地域デザイン学部	1	公立	下関市立大学	経済学部	5	
	東京外国語大学	国際社会学部	1		長崎大学	農学部	1		山口県立大学	社会福祉学部	1	
	福井大学	国際地域学部	1		長崎大学	医学部	1		山口県立大学	国際文化学部	2	
	鳥取大学	工学部	1		熊本大学	工学部	3		山陽小野田市立	薬学部	1	
	島根大学	生物資源科学部	1		熊本大学	文学部	1		山口東京理科大学	工学部	2	
	島根大学	総合理工学部	1		熊本大学	法学部	1		高知工科大学	環境理工学群	1	
	岡山大学	医学部	1		熊本大学	工学部	1		公立	北九州市立大学	外国語学部	3
	広島大学	生物生産学部	1		宮崎大学	工学部	1			北九州市立大学	経済学部	2
	山口大学	教育学部	2		大分大学	農学部	1			北九州市立大学	国際環境工学部	2
		医学部	1		大分大学	理工学部	1			北九州市立大学	地域創生学群	2
		農学部	2		鹿児島大学	医学部	1		北九州市立大学	文学部	5	
	福岡教育大学	教育学部	3		琉球大学	工学部	1		福岡県立大学	法学部	3	
	九州大学	経済学部	1		琉球大学	教育学部	1		福岡県立大学	看護学部	4	
	九州工業大学	工学部	3		横浜国立大学	国際商学部	1		福岡県立大学	人間社会学部	9	
九州工業大学	情報工学部	7	兵庫国立大学	国際商経学部	1	長崎県立大学	経営学部	2				
佐賀大学	理工学部	1	島根県立大学	地域政策学部	1	長崎県立大学	地域創造学部	1				
佐賀大学	経済学部	1	岡山県立大学	看護栄養学部	1	熊本県立大学	文学部	1				
佐賀大学	医学部	1	岡山県立大学	デザイン学部	1	宮崎県立看護大学	看護学部	1				
				岡山県立大学	情報工学部	1	名桜大学	人間健康学部	1			
							名桜大学	国際学群	1			

詳細は常磐会公式HPの「バックナンバー」から「2022年度 総会誌」をご覧ください。

令和3年度
進路状況表

令和3年度 私立大学合格者数（既卒生を含む）

大学	人数	大学	人数	大学	人数	大学	人数
福岡大学	38	九州共立大学	5	岡山理科大学	3	南九州大学	1
九州産業大学	43	関西学院大学	5	九州保健福祉大学	2	東洋大学	1
福岡工業大学	29	立命館大学	4	安田女子大学	2	東京農業大学	1
西日本工業大学	17	同志社大学	4	亜細亜大学	2	東京国際大学	1
西南学院大学	13	中村学園大学	4	愛知学院大学	1	東海大学	1
西南女学院大学	12	筑紫女学園大学	4	獨協大学	1	長崎外国語大学	1
近畿大学	11	崇城大学	4	龍谷大学	1	中京大学	1
九州国際大学	8	名古屋外国語大学	3	立命館アジア太平洋大学	1	中央大学	1
梅光学院大学	7	青山学院大学	3	明治大学	1	早稲田大学	1
九州女子大学	6	神奈川大学	3	明治学院大学	1	神戸薬科大学	1
九州栄養福祉大学	6	産業医科大学	3	別府大学	1	関西外国語大学	1
純真学園大学	6	久留米大学	3	福岡国際福祉医療大学	1	その他	2

上級学校合格状況・就職状況

	令和3年度	現役	既卒	合計
国立大学	47		2	49
公立大学	51		4	55
私立大学	252		19	271
文科省管轄外	6		0	6
公立短大	2		0	2
私立短大	1		0	1
各種学校	28		0	28
事務	0	0	0	0
営業				
技能				
公務員			2	2
合計				

スマートフォン決済について

・振込用紙に印字されたバーコードをアプリで読み取って、ご自宅から入金が可能です。

決済手順について

- ① スマートフォン等にスマートフォン決済アプリをインストールし、必要事項を登録します。
(アプリで納付に必要な金額をチャージします。)
- ② アプリの請求書払いを選択し、振込用紙に印字されたバーコードを読み込みます。
- ③ 払込金額を確認し、支払手続きを行います。
- ④ 支払手続きが完了すると、支払完了画面が表示されます。



ご利用いただけるスマートフォン決済アプリ



*利用方法の詳細については、各アプリ事業者のHP等をご確認ください。

※コンビニエンスストア・スマートフォン決済からご入金いただく場合は、通信欄がご利用できません。
住所・氏名に訂正がある場合は、郵便便・ゆうちょ銀行をご利用いただくか事務局までご連絡ください。
※ご入金いただく際は、必ずお手元に届きましたご本人様の振込用紙を使用してください。
※スマートフォンアプリでの決済画面にてシステム代行会社「サラト」と表示されますが、「常磐会」の入会金・年会費で間違いございません。

上記のコンビニ・スマートフォン決済につきましては、(株)サラトに委託しております。安心してご利用いただけますよう、よろしくお申し上げます。

郵貯での払い込みについて

ご注意ください。

今年から払い込み手数料が新設され、受取人が払込料を負担する（赤色の払込票で従来は手数料不要）の場合も、1件あたり110円の手数料が必要になりました。ただ、キャッシュカードや通帳を利用して払い込まれる場合は不要です。
お持ちの方は是非ともご利用ください。

訂正・調査専用ページを

開設しました。

- ・同封の振込用紙のQRコードからご自身のページをご覧ください。
- ・ご自身の住所等の訂正の他、同級生等の住所不明者をご確認いただけます。
- ・住所不明者の新住所は必ずご本人様にご確認のうえ、常磐会事務局へお寄せください。

事務局より

第13回生（昭和36年卒）吉水 卓見 様より、

令和4年4月にPHPより、「認知症の時代」～支え合える社会を目指して～を出版しました。多くの方に読んでいただき感謝申し上げます。30年にわたり認知症を診察してきた医師の経験による一冊です。

「常磐会報発行協力金」協力者ご芳名

令和3年度常磐会報発行にあたってご協力いただいた皆さんのお名前です。ご協力誠にありがとうございました。今後とも引き続き全会員へ常磐会報が発送できますように何卒よろしくお願ひ申し上げます。

福岡県立京都高等学校同窓会 常磐会

令和4年10月31日現在 敬称は略させていただきます

- 旧職員: 安相小大 藤原小大 藤原小大... 京都高等学校: 三木信敏 中家(有馬)京子... 京都高等女子学校: 伊藤繁幸 伊藤繁幸... 第22回: 村山(青野)多恵子 石田(有朝)朝美... 第23回: 平春晃 晃男 晃男... 第24回: 村山(山田)正子 茂原(渡辺)路子... 第25回: 井関正博 井関正博... 第26回: 井関正博 井関正博... 第27回: 井関正博 井関正博... 第28回: 井関正博 井関正博... 第29回: 井関正博 井関正博... 第30回: 井関正博 井関正博... 第31回: 井関正博 井関正博... 第32回: 井関正博 井関正博... 第33回: 井関正博 井関正博... 第34回: 井関正博 井関正博... 第35回: 井関正博 井関正博... 第36回: 井関正博 井関正博... 第37回: 井関正博 井関正博... 第38回: 井関正博 井関正博... 第39回: 井関正博 井関正博... 第40回: 井関正博 井関正博... 第41回: 井関正博 井関正博... 第42回: 井関正博 井関正博... 第43回: 井関正博 井関正博... 第44回: 井関正博 井関正博... 第45回: 井関正博 井関正博... 第46回: 井関正博 井関正博... 第47回: 井関正博 井関正博... 第48回: 井関正博 井関正博... 第49回: 井関正博 井関正博... 第50回: 井関正博 井関正博... 第51回: 井関正博 井関正博... 第52回: 井関正博 井関正博... 第53回: 井関正博 井関正博... 第54回: 井関正博 井関正博... 第55回: 井関正博 井関正博... 第56回: 井関正博 井関正博... 第57回: 井関正博 井関正博... 第58回: 井関正博 井関正博... 第59回: 井関正博 井関正博... 第60回: 井関正博 井関正博... 第61回: 井関正博 井関正博... 第62回: 井関正博 井関正博... 第63回: 井関正博 井関正博... 第64回: 井関正博 井関正博... 第65回: 井関正博 井関正博... 第66回: 井関正博 井関正博... 第67回: 井関正博 井関正博... 第68回: 井関正博 井関正博... 第69回: 井関正博 井関正博... 第70回: 井関正博 井関正博... 第71回: 井関正博 井関正博... 第72回: 井関正博 井関正博... 第73回: 井関正博 井関正博... 第74回: 井関正博 井関正博... 第75回: 井関正博 井関正博...